様式第１号の４（第５条の２関係）

省エネ基準工事監理状況報告書（モデル建物法）

　　　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 三次市長（建築主事） | 様 |

　　　　　　　　　　　　住所

工事監理者　氏名

(　　)建築士(　　)登録第　　　　　　　　　　号

(　　)建築士事務所(　　)知事登録第　　　　　号

電話(　　　)　　　　　番

次のとおり，工事の監理状況を報告します。

この監理報告書に記載の事項は，事実に相違ありません。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 報　　　　告　　　　内　　　　容 | | | |
| 報　　　　告　　　　事　　　　項 | 照合を行った設計図書 | 確認方法 | 確認結果 |
| １  外皮 | ①断熱材の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ②窓の仕様，設置状況（ブラインドボックス，ひさしの設置状況を含む。） |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ２  空気調和設備 | ①熱源機器の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ②全熱交換器の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ③全熱交換器のバイパス制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ④予熱時外気取入停止制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ⑤２次ポンプの変流量制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ⑥空調機ファンの変風量制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ３  換気設備 | ①換気設備の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ②送風量制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ４  照明設備 | ①照明器具の消費電力，台数及び取付状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ②各種制御の設置状況  （在室検知制御・タイムスケジュール制御・初期照度補正制御・明るさ検知制御） |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ５  給湯設備 | ①熱源機器の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ②給湯配管の保温の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ③節湯器具の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ６  昇降機設備 | 昇降機の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ７  太陽光発電設備 | 太陽光発電の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ８  コージェネレーション設備 | コージェネレーション設備の仕様，排熱利用先 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |

注　１　この様式は，「モデル建物法」により建築物エネルギー消費性能基準への適合性を確

認した建築物に係る工事監理を対象とする。

２　計算対象となる設備等がない場合は，当該設備等に係る項目の記載は不要とする。

３　「照合を行った設計図書」の欄は，建築基準法施行規則第１条の３に規定する図書等のうち，工事監理で照合を行った図書を記載すること。

４　「確認方法」の欄は，Ａ・Ｂ・Ｃのうち，該当するものを○で囲むこと。Ｃに該当する場合は，確認に用いた具体的な書類を記載すること。Ｃで確認した書類は，検査時に確認する場合があるため，現場に備え置くこと。

Ａ：目視（試験）による立会確認

Ｂ：計測等による立会確認

Ｃ：自主検査記録・施工記録・測定記録・納入仕様書・材料搬入報告書・工事写真・規格証明書・施工図・試験成績書等による確認

５　「確認結果」の欄は，「適」・「不適」のいずれかを記入し，工事施工者が注意に従わなかった場合は「不適」を記入すること。また，不適の場合には建築主に対して行った報告の内容を記載すること。

６　不用の文字は，消すこと。

７　用紙の大きさは，日本産業規格Ａ列４とする。

省エネ基準工事監理状況報告書（モデル建物法（小規模版））

　　　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 三次市長（建築主事） | 様 |

　　　　　　　　　　　　住所

工事監理者　氏名

(　　)建築士(　　)登録第　　　　　　　　　　号

(　　)建築士事務所(　　)知事登録第　　　　　号

電話(　　　)　　　　　番

次のとおり，工事の監理状況を報告します。

この監理報告書に記載の事項は，事実に相違ありません。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 報　　　　告　　　　内　　　　容 | | | |
| 報　　　　告　　　　事　　　　項 | 照合を行った設計図書 | 確認方法 | 確認結果 |
| １  外皮 | ①断熱材の種類・仕様，厚さ，施工範囲 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ②開口部の仕様（建具種類，枠・ガラスの仕様等），形状，設置位置 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ２  空気調和  設備 | ①熱源機器の仕様，設置状況（設置位置・台数，空調の範囲等)，風量等制御内容 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ②全熱交換器の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ③全熱交換器のバイパス制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ④予熱時外気取入停止制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ３  換気設備 | ①換気設備の仕様，設置状況（設置位置・台数，ダクト径・長さ，給排気口の位置・径等） |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ②送風量制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ４  照明設備 | ①照明器具の消費電力，台数及び取付状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ②各種制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ５  給湯設備 | ①熱源機器の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ②給湯配管の保温の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ③節湯器具の仕様，設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ６  太陽光  発電設備 | 太陽光発電の仕様，パネル設置状況（設置位置・範囲） |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |

注　１　この様式は，「モデル建物法（小規模版）」により建築物エネルギー消費性能基準へ

の適合性を認した建築物に係る工事監理を対象とする。

２　計算対象となる設備等がない場合は，当該設備等に係る項目の記載は不要とする。

３　「照合を行った設計図書」の欄は，建築基準法施行規則第１条の３に規定する図書等のうち，工事監理で照合を行った図書を記載すること。

４　「確認方法」の欄は，Ａ・Ｂ・Ｃのうち，該当するものを○で囲むこと。Ｃに該当する場合は，確認に用いた具体的な書類を記載すること。Ｃで確認した書類は，検査時に確認する場合があるため，現場に備え置くこと。

Ａ：目視（試験）による立会確認

Ｂ：計測等による立会確認

Ｃ：自主検査記録・施工記録・測定記録・納入仕様書・材料搬入報告書・工事写真・規格証明書・施工図・試験成績書等による確認

５　「確認結果」の欄は，「適」・「不適」のいずれかを記入し，工事施工者が注意に従わなかった場合は「不適」を記入すること。また，不適の場合には建築主に対して行った報告の内容を記載すること。

６　不用の文字は，消すこと。

７　用紙の大きさは，日本産業規格Ａ列４とする。